



## 建学の精神

弘前学院は、キリスト教の精神と創立者 本多庸一の信条とした「畏神愛人」を建学の基とし、このような人間形成を教育の根底に据えて、高度な専門の知識と技術を習得することを志向しています。

「神を畏れる」とは、聖書に示されている天地の創造者のみを主(神)として拝すること、すなわち特定の思想や人物及び、自己を絶対化せず、神のほかの何ものをも神格化しないということです。

また「隣人を愛する」とは、自己と同質の人、あるいは仲間ではなく、他民族や自己と異なる一人ひとりの人格と個性と立場を尊重し、受容することを意味します。



弘前学院 校章・マーク  
左から、弘前学院聖愛中学高等学校と弘前学院大学の校章。どちらも岩木山を圖案化し、中学校の「Seiai」の文字と大学の地の色は、弘前学院のスクールカラーであるエンジが使われています。

## 学校法人 弘前学院

〒036-8577 青森県弘前市稔町13-1

TEL : 0172-36-5224 FAX : 0172-32-7509



## 創立

弘前学院は、1886年(明治19)青森県における最初の女子普通教育の学校として、本多庸一によって創設されました。

青森県弘前市におけるキリスト教の伝播は、当時、津軽藩士であった本多庸一が藩費によって横浜に内地留学したことに始まります。横浜で宣教師ジェームス・バラに英語を学んだ本多は、1872年(明治5)洗礼を受けます。会員11人とバラによって、日本初のプロテスタント教会である日本基督公会がスタート。この集まりは横浜バンドと呼ばれました。

1874年(明治7)、本多はアメリカ・メソジスト監督教会宣教師のジョン・イングを夫人とともに東奥義塾牧師に就任させ、自らも義塾の牧師に就任しています。ここに、弘前と津軽地方におけるキリスト教伝道が、始められたのです。翌年、14人の義塾生が洗礼を受け、今日の弘前教会の第一歩が記されました。

弘前学院の前身である弘前女学校は、1886年(明治19)弘前教会会堂内に併設されました。その後、1889年(明治22)に校主 長谷川誠三とアメリカ婦人伝道会社との間で互約書が取り交わされ、女性宣教師による学校運営がなされることになりました。同時に県知事の許可を得て、ミッションスクールとして発足するに至りました。以来、次々と女性宣教師がアメリカから来院しています。



創立者 本多庸一(1848~1912年)  
日本のメソジスト教会初代監督となりました。



## 創立の背景と歴史

本多庸一は、弘前出身の津軽藩士で、幼少時には儒学を学び、兵法・剣術の達人として、幕末の困難な政局の中、さまざまな活動を行ないました。維新後は津軽藩の命令で、英語を学ぶために横浜に留学。ここでキリスト教に出会い、1872年(明治5)洗礼を受けました。

東京英和学校(現・青山学院大学)2代目校長(日本人としては初)として、また日本のメソジスト教会における初代監督として、新島襄、内村鑑三、新渡戸稲造らと並ぶ、日本におけるキリスト教の先駆者でした。1912年(大正元)、内務大臣主催の神仏基の三教会合同の際には、キリスト教代表者の一人として出席しています。

本多は、故郷の東北地方の伝道を志して、廃藩置県の影響で廃校となっていた東奥義塾を再興し、塾長を務めます。また、同じく牧師に就任させたアメリカ・メソジスト監督教会宣教師のジョン・イング夫妻とともに、東北地方の伝道が進められていきました。

1886年(明治19)、函館・遺愛女学校長のミス・ハンプトンと協議の上、カロライン・ライト夫人の寄付による基金の一部をもって、弘前教会内に遺愛女学校の分校を開設しました。教師は2人で約10人の生徒の内、男子も2人混じていました。当初、校名はカロライン・ライト夫人に因み(米徳女学校)と称し、翌年、(弘前遺愛女学校)と改称して函館・遺愛女学校の分校の形をとります。教育の実務は弘前教会牧師の山鹿元次郎が担当しています。

開校後も遺愛女学校からの支援は続き、弘前でも定住する女性教師の派遣を強く望み、経験豊富なミス・ハンプトンが専任として着任しています。

弘前教会員の長谷川誠三は、数人の同志と女学校設立基金を募り、元大工町に校舎を建築。翌1889年(明治22)弘前女学校として設立認可を得ます。生徒は小学科、本科、合わせて七十余名に上っていました。実業家で本多に導かれて入信した長谷川が初代の校主(校長)を務めました。

1901年(明治34)、坂本町校舎を新築し移転。1912年(大正元)本多が逝去すると、校地・校舎をアメリカメソジスト婦人伝道教会に寄付し、その代表者であるエリザベス・アレキサンダーが第13代校長及び、設立者となりました。これにより、弘前女学校は名実ともにミッションスクールとなります。弘前女学校は、1946年(昭和21)校名を(弘前聖愛高等女学校)と改称、1948年(昭和23)の学制改革により、(弘前聖愛高等学校)となり、1950年(昭和25)弘前学院短期大学英文科が開設されました。さらに1957年(昭和32)短期大学に家政科、1966年(昭和41)には国文科を増設しました。

1971年(昭和46)短期大学の英文科・国文科は4年制大学文学部の英米文学科・日本文学科に改組され、1999年(平成11)には4年制大学社会福祉学部を開設。この年から大学が男女共学となりました。ついで、2003年(平成15)大学院社会福祉学研究科開設。2005年(平成17)看護学部及び大学院文学研究科開設。2006年(平成18)には、聖愛高校の校舎内に中学校が開設され、中学校から大学までの一貫教育の充実を目指しています。